

## 内蔵 DAT72 ユニット(ドライブケース付)

(PG-DT504D/PGBDT504D、PG-DT504D1/PGBDT504D1)

### (1) 概要

DAT (Digital Audio Tape) の技術をベースに、情報機器のバックアップ装置として決められた第5世代の DDS (Digital Data Storage) テクノロジーに対応した内蔵型 DAT ユニット。

テープ1巻あたり非圧縮データ 36GB (データカセット CT36G 使用時) のバックアップが可能である。

### (2) 特長

- ・36GB (圧縮時で平均 72GB) の大容量バックアップおよび最大 3.0MB/s (非圧縮時) の転送が可能。
- ・DDS-3、DDS-4、DAT72 の各フォーマットのテープ媒体を Read/Write 可能。
- ・接続インタフェースを USB とすることにより、SCSI カードの増設が不要。

### (3) 仕様

項目	仕様	備考
製品名称	内蔵 DAT72 ユニット	
型名	PG-DT504D、PGBDT504D PG-DT504D1、PGBDT504D1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PG-DT504D/PGBDT504D は、RX300 S3, RX300 S4 専用型名</li> <li>・PG-DT504D1/PGBDT504D1 は、RX300 S5(3.5 インチ SAS /SATA モデル)専用型名</li> </ul>
インタフェース	USB 2.0	
データ記録方式	回転ヘッド、ヘリカルスキャン記録方式	
データ記憶容量	非圧縮時 36GB/巻、圧縮時約 72GB/巻*	*圧縮率 2 倍のとき
データ転送速度	最大 3.0MB/s(非圧縮時)	ドライブ-媒体間
データ記録形式	DDS-3、DDS-4、DAT72	DDS,DDS-2 は使用不可
エラーレート	訂正不能エラーは $1 \times 10^{-15}$ 乗 bit のリードに 1 回以下	
外形寸法	3.5 インチ内蔵オプションベイを使用  <ul style="list-style-type: none"> <li>・PG-DT504D/PGBDT504D 幅 117.0×高さ 53.0×奥行き 172.3[mm]</li> <li>・PG-DT504D1/PGBDT504D1 幅 117.2×高さ 53.7×奥行き 171.3[mm]</li> </ul>	突起を含まない。
質量	716g	ケースを含まない
消費電力	平均 7.1 W,最大 16.0 W	
発熱量	57.6.1kJ/h	
添付品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DDS クリーニングカートリッジ</li> <li>・ネジ(4 本、ユニットに装着済)</li> <li>・保証書</li> <li>・取扱説明書</li> <li>・小冊子(テープ装置、媒体の定期交換とクリーニングで安心バックアップ!)</li> <li>・運用チェックシート (設置・運用確認編)</li> <li>・DAT ユニット取扱い注意シート</li> <li>・防塵カバー(ユニットに装着済)</li> <li>・ドライブケース(ユニットに装着済)</li> <li>・USB ケーブル</li> <li>・DC 電源ケーブル</li> </ul>	特に記述が無いものは数量=1。
適用機種	便覧参照	

適用 OS/ソフトウェア	システム構築上の留意事項(バックアップガイド)を参照。	
推奨クリーニング周期	1週間毎(1週間に25時間以上バックアップする場合は、25時間使用毎)	未使用時には1ヶ月毎
クリーニングテープ寿命	最大50回(使用寿命に達すると、Clean-LEDが点滅し、自動で排出されない)	

※ テープ装置における容量表現および転送速度は、1M byte = 1000 × 1000 byte で換算しています。

#### (4) 留意事項

以下に本装置の運用、取扱いに関する留意事項を記載する。詳細は本装置の取扱説明書およびバックアップソフトウェア、等、関連製品の説明書を参照すること。  
また、別章の「バックアップガイド」の注意事項も参照すること。

##### ・バックアップ性能とバックアップ容量

以下の要因により、バックアップ性能および1巻あたりに記録できるバックアップ容量が変化します。データ転送速度が十分に得られない場合、バックアップ容量が31.5GB程度(理論上は最小容量23.4GB)に減少することがあるため、注意されたい。発生した場合には、特にサーバ負荷状況をチェックすること。

- サーバの負荷状況(データ転送速度)
- データの圧縮率
- ご使用されるデータカセットの記録面の状態(消耗、汚れなど)
- 本製品のヘッドの汚れ状態

##### ・USB デバイスの扱い

Windows などでは USB デバイスは取り外し可能な装置として扱われますが、本装置を運用中に「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行うと、再度認識させるためにはサーバのリブートが必要になります。基本的に OS 動作中は本装置の取り外し操作を行わない ください。

##### ・バルクイレーサの使用上の注意

データカセットには予めサーボ情報が書き込まれているため、バルクイレーサ(磁気イレーサ)での消去した場合には、当該のデータカセットは使用できなくなります。

##### ・Windows Server 2003(x64 Editions および R2 を除く)の ASR 使用時の注意

上記 OS において、ASR(Automated System Recovery)を使用してシステム復旧を行う場合、システムが予め Service Pack 1 が適用された Windows Server 2003 の OS の CD を用いてインストールされており、復旧時にも当該の CD を使用する必要があります。Windows Server 2003 の CD と Service Pack 1 を個別に使用しても、復旧することはできません。

Service Pack 1 が適用された Windows Server 2003 の OS CD は別購入になりますので、ご注意ください。(サーバ本体には、添付されません。)

##### ・BrightStor ARC serve の Disaster Recovery Option 使用時の注意

上記のソフトウェアを使用してシステム復旧を行う場合、以下の注意が必要です。

- Windows 2000 Server をシステム復旧する場合、システムが予め Service Pack 4 が適用された Windows 2000 Server の OS CD を用いてインストールされており、復旧時にも当該の CD を使用する必要があります。
- Windows Server 2003(x64 Editions および R2 を除く)をシステム復旧する場合、システムが予め Service Pack 1 が適用された Windows Server 2003 の OS の CD を用いてインストールされており、復旧時にも当該の CD を使用する必要があります。

前者の場合には2003年以降に出荷されたPRIMERGYに添付しているCDは、全て適用されています。後者の場合には、Service Pack 1 が適用された Windows Server 2003 の OS CD は別購入になりますので、ご注意ください。

・Windows2000 Advanced Server 使用時の注意

PG-DT504D,PGBDT504D について、Windows2000 Advanced Server ご使用中に、PAE (Physical Address Extension) の設定を行ったシステムにおいては、NT BACKUP からのバックアップが動作できません。バックアップソフトウェアは BrightStor ARCserve Backup r11.5 をご使用ください。

・Windows Server 2008 使用時の注意

- 搭載するサーバ本体により適用可能時期が異なります。  
詳しくは弊社ホームページ内「PRIMERGY の Windows 情報」の「Windows Server® 2008 動作確認情報」(以下 URL)を参照してください。  
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/2008/>
- Windows Server 2008 で本装置をご使用になる場合は、別途専用のバックアップソフトウェアが必要になります。  
詳しくは、別章の「バックアップガイド」を参照してください。

・BrightStor ARCserve Backup / CA ARCserve Backup 使用時の注意事項

- 本装置を BrightStor ARCserve Backup / CA ARCserve Backup でご使用になる場合もデバイスドライバの適用が必要です。  
適用方法については、本装置の取扱説明書もしくはドライバの Readme (操作説明書)を参照してください。

・サーバ搭載位置に関する留意事項

本装置をサーバに搭載する際に、サーバ本体の HDD 搭載位置や数量によっては、HDD の搭載位置を変更する必要があります。(BTO で搭載した場合は不要)  
詳細については、サーバ本体 (PRIMERGY RX300 S3 / PRIMERGY RX300 S4 / RX300 S5) の「内蔵 DAT72 ユニット (PG-DT504D) 搭載時の留意事項」もしくは「内蔵 DAT72 ユニット (PG-DT504D1) 搭載時の留意事項」を参照してください。

(5) 運用構築時の注意

装置の安定稼働のため、バックアップ業務を構築する際には「運用チェックシート」(バックアップガイドの章末に添付。また、取扱説明書内にも掲載)を参照のうえ、運用上、問題ないか確認のうえ設計してください。以下の URL にある、「テープ装置、媒体の定期交換とクリーニングで安心バックアップ！」も参照してください。運用の注意事項の要点が記されています。

<http://www.fmworld.net/biz/primergy/tec.html>

また、「ServerStart」や「PRIMERGY スタートアップディスク」に同梱されているソフトウェアツール 'Tape Maintenance Advisor' をサーバにインストールすることにより、あらかじめ設定された時期にヘッドクリーニングの要求をオペレータに通知することができます。本ツールの活用により、トラブルの無い運用構築を図っていただきたい。

(6) サプライ品 [手配先: 富士通コワーコ株式会社]

本装置のサプライ品には以下の物がある。  
データカセット、クリーニングカセットは必ず当社指定のサプライ品を使用すること。

品名	商品番号	出荷 単位	仕様		使用可能ドライブ
			記録容量	記録フォーマット	
データカセット DAT CT36G	0121210	1 巻	36.0GB	DAT72	DAT72
データカセット DAT CT20G	0121190	1 巻	20.0GB	DDS-4	DDS-4,DAT72
データカセット DAT CT12000	0121180	1 巻	12.0GB	DDS-3	DDS-3,DDS-4,DAT72
クリーニングカセット DAT-N	0121170	1 巻	最大 50 回使用可能		

※注: 記録容量はデータ圧縮機能を使わない場合の値。

CT1300,2000(DDS1 対応)テープおよび CT4000(DDS2 対応)テープは使用できません。

問い合わせ窓口:

富士通コワーコ株式会社 <http://jp.fujitsu.com/coworco/>  
富士通コワーコお客様総合センター 0120-505-279  
月～金 9:00～17:30(祝日・年末年始除く)

(7)接続条件

a. 内蔵 3.5 インチベイ接続

サーバ	USB アダプタ	対応 DAT 型名	接続ケーブル
RX300 S3	On Board USB ポート	PG-DT504D/PGBDT504D	PG-DT504D に添付
RX300 S4	On Board USB ポート	PG-DT504D/PGBDT504D	PG-DT504D に添付
RX300 S5 (3.5 インチ SAS/SATA モデル)	On Board USB ポート	PG-DT504D1/PGBDT504D1	PG-DT504D1 に添付

※注意: サーバ1台に対して、本装置は1台のみ接続可。

b. SX10 / SX10 S2 (Backup Cabinet)接続

本装置は RX300 S3 / RX300 S4 / RX300 S5(3.5 インチ SAS/SATA モデル)内蔵専用のため、  
SX10 / SX10 S2 には搭載できません。